

名称等 平成 30 年度 沼津市教育委員会教育研究奨励表彰式を開催します。

実施日時 平成 31 年 2 月 26 日(火曜日) 13 時 30 分～14 時 40 分

場 所 沼津市役所 8 階 大会議室 (沼津市御幸町 16-1)

担 当 沼津市教育委員会 教職員研修センター
直通 055-951-3425 内線 5361

1 内容

沼津市立の幼稚園、小・中学校教職員の研究活動を対象にした教育研究奨励制度の平成 30 年度受賞者が決定しましたので、その表彰式を行います。受賞者 13 人に対し、教育長から表彰状並びに記念品の授与を行います。

(1) 被表彰者

・優秀賞受賞者 1 人、優良賞受賞者 5 人、奨励賞受賞者 7 人 (*詳細は別紙一覽)

(2) 式次第

- ①教育長あいさつ
- ②教育委員あいさつ
- ③受賞者紹介
- ④表彰状及び記念品授与
- ⑤受賞者代表謝辞
- ⑥優秀賞受賞研究概要報告

2 特徴

- ・本制度は、市立の幼稚園、小・中学校教職員の研究活動の奨励・向上を図り、同時に本市教育の健全な発展を期待して沼津市教育委員会が設けている制度である。
- ・本年度は 13 点の応募あり。例年通り、審査の対象を*中堅教員研修(10年研修)の修了者とする第Ⅰ部と、中堅教員研修の未修了者(6年目～10年目教員)とする第Ⅱ部に分けて実施。特に、第Ⅱ部については、若手教職員が自己の実践を振り返り、次のステージに実践をつなげる機会とするために設定されている。
- ・全体の研究内容は、授業づくり、校内分掌、表現活動等、それぞれの実践について、的確に成果と課題をまとめたものである。
- ・優秀賞についてまとめると、「子どもが道徳的価値を自分事として捉え、友達と議論して考えを深める授業づくり」という一貫したテーマで、道徳科において具体的実践を重ね、継続研究をしたものである。

*「中堅教員研修」とは、教諭等として在職期間が 10 年に達した者を対象とし、個々の能力、適性等を高めるために静岡県教育委員会が実施する研修のこと。以前は「10 年研修」といった。

添付資料

平成 30 年度沼津市教育委員会教育研究奨励の結果について（通知）

- 1 応募者数 13 人 I 部：1 人（小学校 1 人）
II 部：12 人（小学校 8 人、中学校 4 人）
- 2 審査結果
優秀賞： 1 人 優良賞： 5 人 奨励賞： 7 人

(1) I 部 優秀賞、優良賞：該当なし

〔奨励賞〕 1 人

No.	学校名	職名	氏名	研究主題
1	西浦小	教諭	生田 佳澄	カリキュラムマネジメントについての研究－生活科・中学家庭科の実践を通して－

(2) II 部

〔優秀賞〕 1 人

No.	学校名	職名	氏名	研究主題
2	第五小	教諭	稲村 恵	子どもが道徳的価値を自分事として捉え、友達と議論して考えを深める授業づくり～明確な指導観をもった授業構想と指導方法の工夫を通して～

〔優良賞〕 5 人

No.	学校名	職名	氏名	研究主題
3	開北小	教諭	小川 詩織	一人一人に居場所がある学級をつくる特別活動～自主的・実践的な学級会と係活動を通して～
4	浮島小	教諭	勝海 里紗	子どもの自己有用感を高める自治的な学級活動～組織・活動の場・環境の工夫～
7	門池小	教諭	森下 瑞恵	どの子にも居場所となる、一人一人が大切にされる学級へ～自己肯定感と自己有用感を高めるための学級づくりの取組～
8	戸田小	教諭	杉山 真人	数量関係を考え、立式する過程における数直線の有用性～子どもがもつ文章問題に対する苦手意識克服を目指して～
10	第二中	教諭	岩田 祐子	文学的文章における生徒の読みの視点を広げ、活用する力の育成を目指して

〔奨励賞〕 6人

No.	学校名	職名	氏名	研究主題
1	第三小	教諭	横山 圭太	家庭との連携を生かした学級づくりー学級通信等を活用してー
5	浮島小	教諭	築地 美和	中学校へつなげる英語力を育てる Phonics の有用性～綴りと発音の間にある法則を楽しく学ぶ～
6	門池小	教諭	大森 智子	「本を読むことが好き」な子を育てる～年齢に適した本を読むことで読書が好きになる～
9	第一中	教諭	名坂 元宏	自分と向き合う黙動清掃～5つの心を育てる成長の時間の設定～
11	第三中	教諭	大久保 恵	生徒が主体的に取り組む道德教育
12	第五中	教諭	石井 祐助	言語科読解を通して育成する思考力と伝え合う力～ミューズ学習・ルーブリック評価を取り入れた授業の実践～